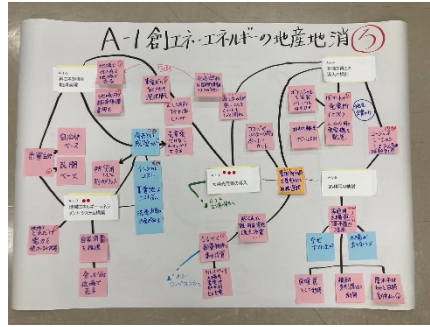
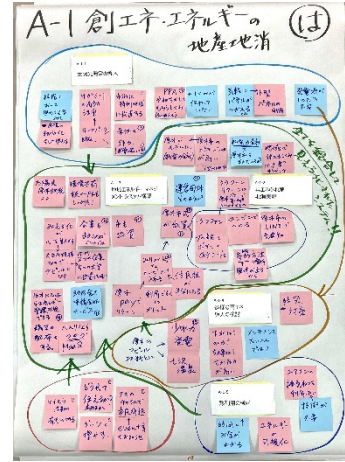


い-A1



ろ-A1



は-A1



に-A1-1

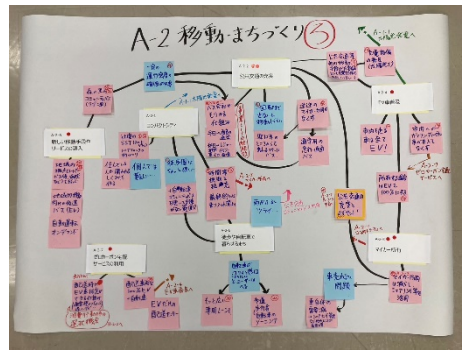


に-A1-2

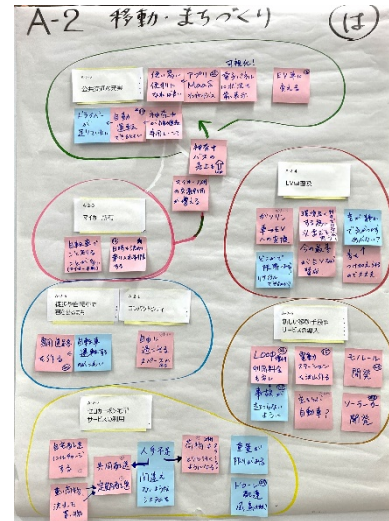
第5回会議 (2023.10.15)
A-1 創エネ・エネルギーの地産地消
A-2 移動・まちづくり



い-A2



ろ-A2



は-A2



に-A2

A-1-3
「災害時」の文言から



A-1-1
太陽光発電の導入

太陽光パネル蓄電池
情報必要

A-1-2
再生エネの地産地消実現

A-1-4
多様な再生エネ導入の検討

水の流れて
発電

災害時
も使える!

① 新築条例化
東京(都?)
でやっているよ!

発電者から、
買い取ってやる
小売会社が
必要

地域に
蓄電池が
必要

by 速藤

経営が
厳しい

by 速藤

⑬ 「チームを作る」どう?

チームを作る
ハードル高い

専門性ない
市民は

現実味が
ない

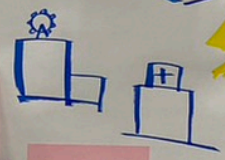
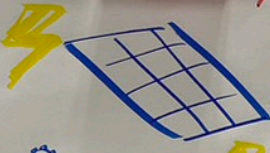
畜産家を中心

専門者に
頼む

公共施設へ設置

④ 市民にも
しむけられる

④ 可視化
することによる
推進



税を優遇

非EV車は
通行禁止

A-1-5
熱利用の検討

太陽熱って

太陽光発電
の副産物

企業・事業者・大学へ設置

⑤ 同上

推進のために

店舗へ設置

⑥ 市民に
気付いて
ほしい

PR不足

太陽光発電
のラベル
を貼る

発電し過ぎると
電線で
送電させて
もらえなくなる

A-1-3
地域エネルギー
マネジメントシステム構築

アクションプラン案

公民館などの行政施設
に共用の蓄電池を設置し、
市独自の電力網を構築
します。②

市でやる
民村(反社)でやる
方法は色々あるかも

⑭ 「チームを作る」どう?

そのための
チームって
何だろう?

設備次第
なので

個人で
できること
がない

地熱
小田厚の手法
を活用

PRも
ほしいよね

例) 地質調査も
市民でやるの?

PR不足

発電量分
かるモニター
を貼る

太陽光発電
のラベル
を貼る

発電者は、発電量を
モニターで示します。⑥

公民館で
マネジメント

自治会費に
組み込んで
出資つもの

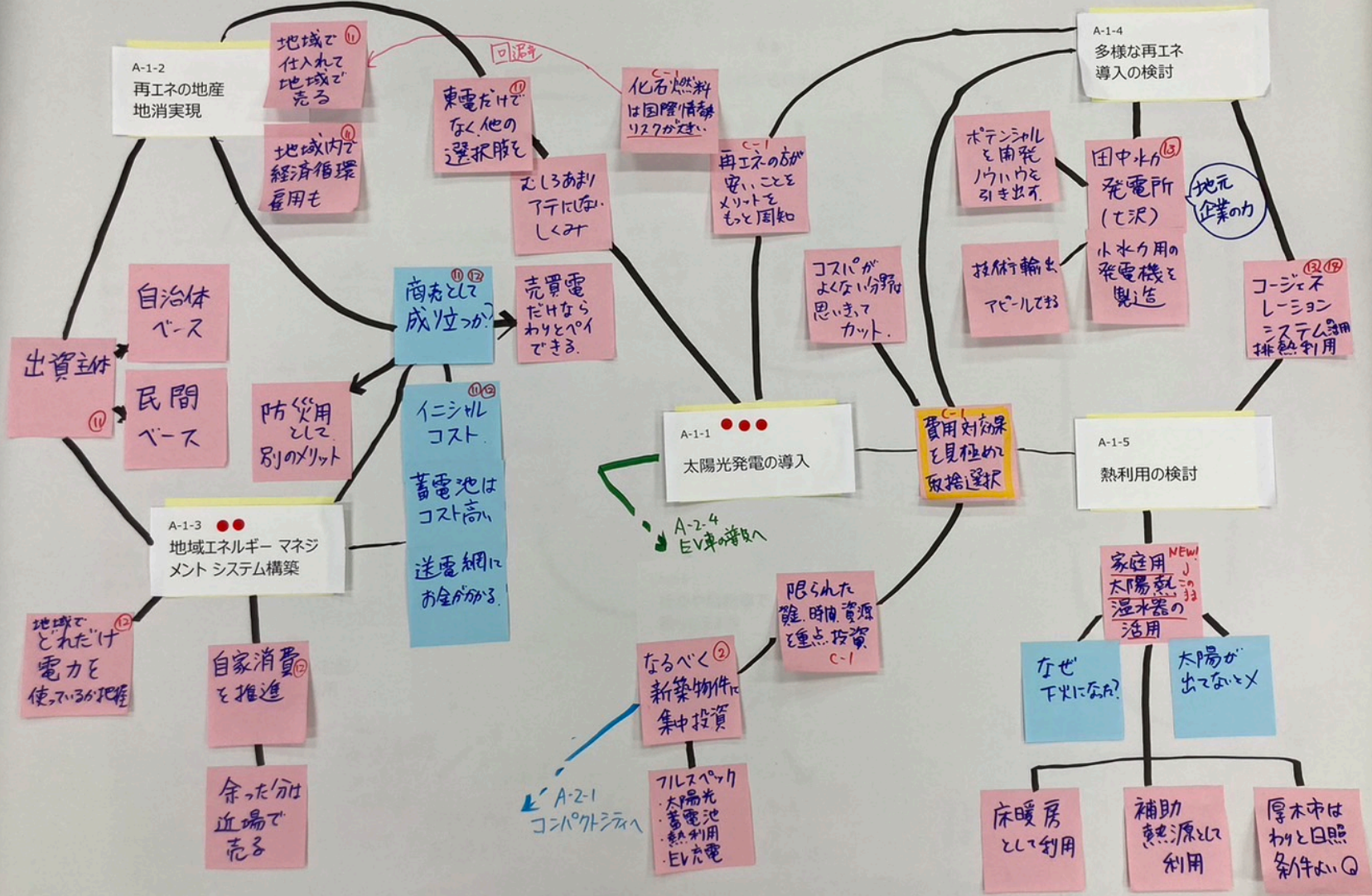
税金
(住民税)
に組み込む

反対運動
勢力
↓
退会

税金上がる
↓
輸出

い A-1 創エネ・エネルギーの地産地消

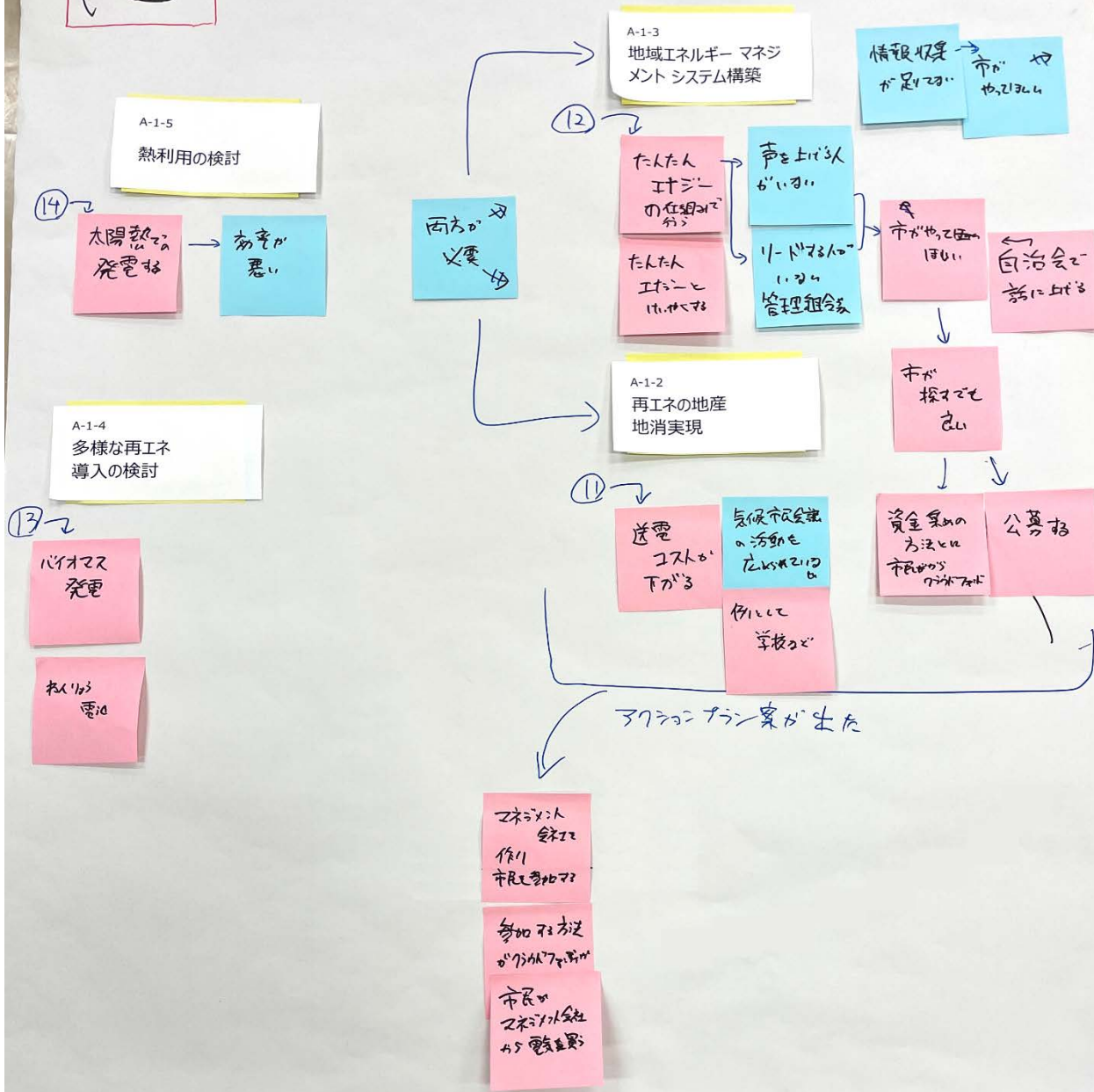
A-1 創「エネ・エネルギー」の地産地消 (5)



(一)

創エネ・エネルギーの地産地消

A-1 ①



に

A-1-1 太陽光発電の導入

A-1 ③

厚木市の
用地割合

山林 30%
宅地 5%

太陽光
11ヶ所の
敷地を
2000坪以上

ポテンシャル
住宅と農地を
重点的に選ぶ

宅地 50%

田 15%



アクションプラン案

所有者が
負担する
仕組み
を
作る

農地で

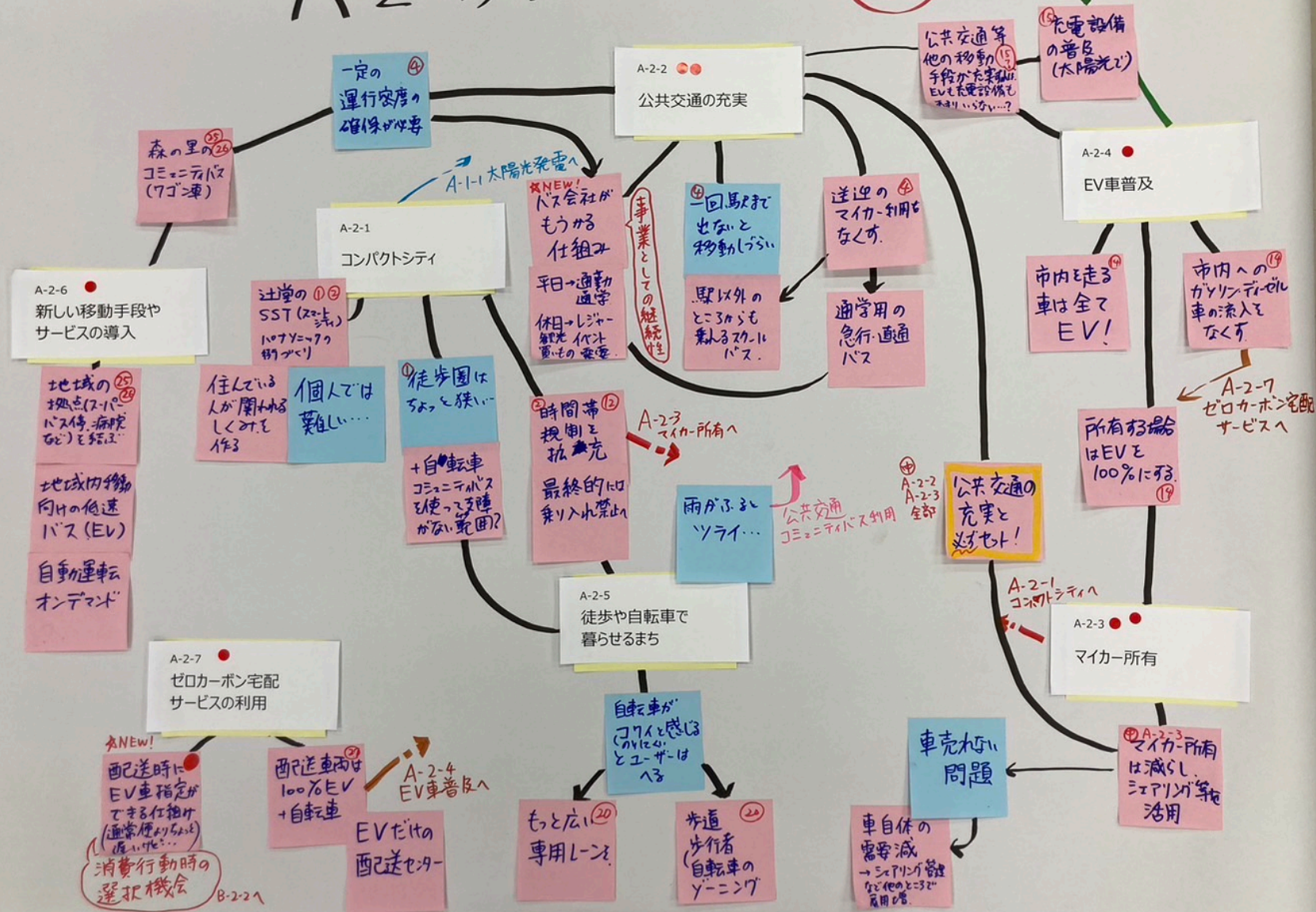
- 具体的なアクションは、
- 以上の説明を市が用意する
- 信頼できる業者を選んだ上で、市の認定リストを出してもらう。

所有者の
設置場所
を
貸す

A-2 移動・まちづくり



A-2 移動・まちづくり③



A-2 移動・まちづくり

(は)

A-2-2 公共交通の充実
使いやすい、便利に、なほは、アプリ、MaaS、電子決済、に状況で、表示、
可視化!
EV車に 変える

ドライバーが 足りていない
自動運転 ができるよ
*10
神奈川の 自動運転 専用レーン

神奈川の バスの 売上も ↑ UP

マイカー以外の 交通利用 が増える

A-2-3 マイカー所有

自転車でも 足りる ところが多い (マイカー不要)
日時を 決め 乗り入れ制限 がある

A-2-4 EV車普及

ガソリン 車 → EV への 変換
環境に 優しい ため、 必要 がある
今の 最も 普及 している
EV への 代替
音が 静か であるか? 音が ↑ つけ加え するのは 大丈夫

A-2-5 徒歩や自転車で 暮らせるまち
A-2-1 コンパクトシティ

専用道路 自転車 専用道 作る
自由に 過ぎせる スペース がある

A-2-6 新しい移動手段や サービスの導入

LOOP 増やす 利用料金 も安い
電動 ステーション を 決める
モビリティ 開発
事故が 起こらない ように
空を 走る 自動車?
ソーラーカー 開発

A-2-7 ゼロカーボン宅配 サービスの利用

自宅配送 には 4-5 がある
共同配送
定期配送
重荷物を 決めた 荷物
人手不足
荷物は トラック ではなく、 ストック による
重量が 限りが あり
ドローン 配達 風鳥? 配達
間違え ない ような システム

二

移動・まちづくり

A-2

A-2-1
コンパクトシティ

② →

こい→したる
集まる

国産前は
おだん
たてこして
いる

実現するための課題

今住んでいる
人の対応が
必要

少数の
高齢者
への対応が
必要

↓ 377 シンボル

市や
コンパクト
を指定

モデル
を作る

サイン
住宅

特に
注意

A-2-7
ゼロカーボン
宅配
サービスの
利用

A-2-5
徒歩や自転車
で暮らせる
まち

② →

② →

安全に
歩く

A-2-6
新しい移動
手段や
サービスの
導入

② →

多目的
ドローン
飛行機

A-2-3
マイカー
所有

① →

ライク
シェア

生活の
必要から

通勤
致車の
利用割合
向上

A-2-4
EV車普及

自家用EVの
利用割合
向上

11.1%の
増加

A-2-2
公共交通の
充実

③ →

バス専用
レーン
を作る

② →

時間内に
バスの
到着

④ →

バスの
位置を
知らせる

② →

バスの
本数を
減らす

マイカー
削減
効果

② →

② →

② →

解決の
手段

⑩ →

自動
運転

⑥ →

バスの
EV化

③ →

充電
時間
短縮

③ →

充電
レーン
を作る

↓

バスの
EV化
促進

③ →

③ →

A-2のテーマ全体に対して

③ →

③ →

③ →